

小学校

s6-12

6学年

起こり得る場合

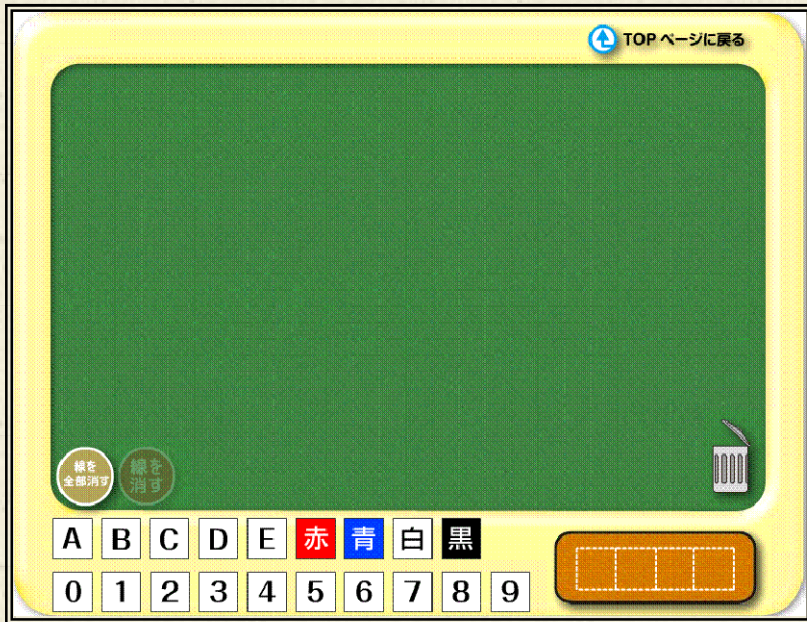
【ねらい】

起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。

【特徴】

- ◇ 黒板と同じように活用することができます。
- ◇ 数字や記号はカード形式になっているので同じ数字や記号が何度でも使え、移動も自由にできます。
- ◇ 2点を取れば線が結べます。

【関連する単元】



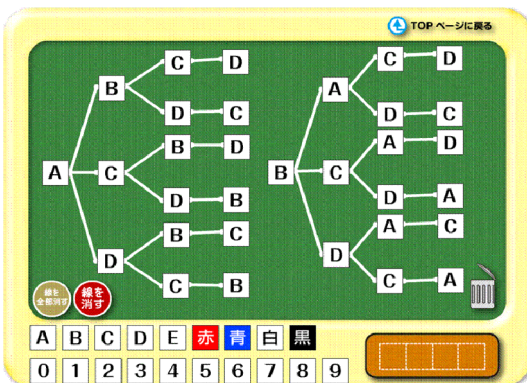
【活用場面】 算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



順列や組合せ等を確認する際、整理するのに有効です

ケースを利用することで、順列等ひとまとまりで、移動整理が可能です。

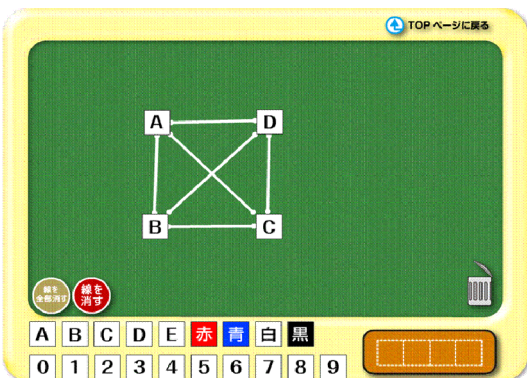
- ◇ リレーのバトンタッチ等の場面を想定し、その順番を考えさせます。
- ◇ 考えたものを発表させます。
- ◇ 発表の順にケースにリレーチーム4人のバトン順をセットし提示します。
- ◇ Aさんが第1走者の場合、Bさんが第1走者の場合等、もれおちや重なりがないように整理していきます。



樹形図で順列や組合せの整理をするのに有効です

2点を選ぶことで線が結べ、樹形図を簡単に作成できます。

- ◇ 上記のケースで整理したものを、樹形図に整理します。
- ◇ 黒板上では、2点をとると線を結ぶことができます。



組合せを重なりなく簡潔に表すことが可能です

2点を取り、線で結ぶ機能を使うと、左のような図で組合せを表すことも可能です。